

てんてん

茨城県特肥 1291号
有機JAS資材
登録番号 JASOM-201001

特殊有用菌体の
力で農作物が

- ✓ 収穫量のアップ!
- ✓ 減農薬が実現!
- ✓ 収穫物の栄養成分増加!
- ✓ 疲弊土壌の回復!
- ✓ 連作障害の除去可能!

てんてんとは

天然物および化学処理されていない原料で作られている有機JAS適合資材の土壌改良材です。
米ぬかや海藻、有用微生物の働きにより土壌の団粒化と土壌環境を改善することで発根を促進させ、定植直後の初期不良や暑さなどによる発根不良・活着不良を助けます。

特長と効果

米ぬかや海藻などの植物原料および有用微生物等から構成されている有機JAS適合資材の土壌改良材で、土壌の有機物分解や栄養循環を活発化させることで、通気性や保水性等が期待できます。

●原料の海藻成分は農作物に必要なミネラルや植物ホルモンが含まれているため、成長促進や品質向上、連作障害の軽減、果実の貯蔵寿命延長などが期待できます。

●土壌環境を向上させ、発根を促進し、定植直後の初期不良や暑さなどによる発根不良や活着不良を助けるバイオスティミュラント効果が期待できます。

●根の成長が促されることで、肥料の吸収力を高めて作物の健全な成長と収量の向上、果実肥大等の効果が期待できます。

●ペレットタイプなので希釈の必要な液体タイプや野外使用では風の影響を受けやすい粉末タイプなどと比べて使いやすくなっています。

●有機JAS適合資材のため、環境に配慮した安全性の高い材料で作られていることが目に見えてわかり、生産物への信頼性を高められます。

施用方法

施用量の目安

根菜類・葉茎菜類・果菜類 150kg(10袋)/10a

水稻 45~75kg(3袋~5袋)/10a

果樹・園芸 150~225kg(10袋~15袋)/10a

茶 300kg(20袋)/10a

※ 施用量は土壌分析・施肥設計に基づいた量としてください。

●種まきや苗の定植のおよそ2週間前には施肥してください。

使用上の注意

- 直射日光、高温を避けて保存してください。
- 鳥類やねずみ等の小動物が食べることがあります。施肥後は必ず、土と混ぜ合わせてください。
- 塊になったり、微生物の影響で白くなっても品質には影響ありませんので、ほぐしてお使いください。

【てんてんの成分】

- * 正味重量/15キログラム
 - * 原料/米ぬか・小麦粉・海藻・ゼオライト・
 - * バイオウォーター・有用微生物(酵母・乳酸菌・放線菌)
- 成分/窒素2.0%・りん酸全量4.3%・加里全量1.6%・炭素窒素比(C/N比17)

1袋 15kg入り

使用事例



キャベツの栽培試験では、前年と比べて、2.5倍、一昨年と比べては1.7倍の収量増が得られました。
てんてんは継続使用することで効果のアップが期待できます。

品目	キャベツ	品種	冬藍
定植日	令和 5 年8月25日～	収穫日	令和 5 年11月30日～令和 6 年 1 月29日
元肥・土壌改良剤			
作業日	7月24日	施肥肥料名	牛糞 2000kg/10a
作業日	8月 3日	施肥肥料名	てんてん 150kg/10a
作業日	8月17日	施肥肥料名	まぐかる 85～100kg/10a
作業日	8月25日	施肥肥料名	キャベラックⅡ(18－6－8) 120kg/10a
圃場の作付面積			
25a/9a/8a/6a(計 4 カ所)			
追肥			
作業日	9月26・27・28日	中耕谷上げ	
特記事項			
キャベツを対象とした土壌改良材てんてんの肥効試験(2 年目)			
定植時期は猛暑や雨不足もあり、初期の生育は良くなかったが、栽培中期より回復し、今年は豊作となった。			
規格サイズ以上(2L で1. 5kg～2. 0kg)のものも多く収穫された。			
前年と比べて、2. 5倍、一昨年と比べては1. 7倍という結果となった(表参照)。			
てんてんは継続使用することで効果が引き上がることが示唆された。			
	総圃場面積		収穫量(t/10a 当たり)
令和 3 年	30a		4. 6
令和 4 年	57a		3. 1
令和 5 年	48a		7. 9

キャベツの収穫の様子(令和5年12月13日)



てんてん施用区は対照区と比較して、総分蘗数で1.30倍でした。
てんてんを施肥することでしっかりした茎葉の成長を促進します。

水稲（コシヒカリ）		
品種：コシヒカリ てんてん施肥量：150kg/810m ² /肥料：セラコート R2488（24-8-8）		
刈り取り調査個体	対照区	てんてん施用区
草 丈	105cm	113cm
総分蘗数	141本	184本
地上部乾燥重	620g	900g

刈り取り調査個体は10株を1まとめにして防鳥防虫網ハウス内で吊るして7日間乾燥させた。

調査日：令和5年9月5日、刈り取り日：令和5年8月24日

総分蘗数および地上部乾燥重は10株分の値

総分蘗数は対照区と比べ、てんてん施用区で1.30倍、地上部乾燥重はてんてん施用区で1.45倍。



刈り取り調査個体（上：対照区 下：てんてん施肥区）



水稲苗の様子

てんてん施肥区は対照区と比較して、1.24倍の収量増でした。
てんてんは収量の向上に貢献します。

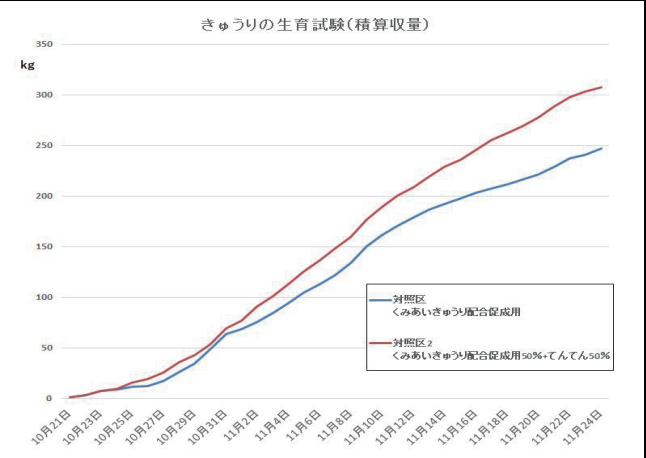
きゅうり(品種:ニーナ Z 埼玉原産)		
定植:令和3年9月	収量調査:令和3年10月下旬	ハウス面積:約500m ² ／ハウス内試験面積:約480m ²
肥料・使用資材		
資材名	使用量(m ²)	成分
対照区:くみあいきゅうり配合促成用	200g	10-3-3
試験区:くみあいきゅうり配合促成用+てんてん	200g	6-3-2(※てんてんの配合比率は50%)

※それぞれの区の苗数は31とし、総収量数で評価した。

定植後19日目(令和3年10月11日)



左側2畝 対照区 くみあいきゅうり配合促成用
右側2畝 対照区 くみあいきゅうり配合促成用+てんてん



10月21日から11月24日までの積算収量は対照区が246.92kg、てんてん試験区が307.33kg

使ってみた方の感想

1. なり疲れの回復力が早い。
2. 茎の太さ、成長点の成長が良い。
3. てんてんを使う際撒きやすい。(臭いが無い)
4. 放線菌の出るスピードが早い。
5. 持続が長い。(3ヶ月でもまだ効いている感じ)
6. おかげで長く収穫が出来た。



農業だより

製造元



株式会社 エイ・シー・エム
〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL.03-3634-7373(代)

お問合せ